◆ 平成29年7月九州北部豪雨及び西日本豪雨の被災に伴う第32回災害ボランティア活動を平成30年11月23日(金)朝倉市杷木の志波地区の柿園において土砂撤去支援活動を実施しました。

筑後信用金庫有志等は、昨年九州北部豪雨及び西日本豪雨で被災した杷木地区において、地元 支援団体(杷木復興支援ベース)を通じて柿園の土砂撤去活動を実施しました。

今回は、当金庫有志7名に加え、当金庫世話人の友人応援者2名と、午後から別の参加団体3名が合流し合計12名で活動しました。現在、朝倉市杷木地区の復興活動は、農家からの依頼が減少する中、地元住民の方々が立ち上げられた支援団体を通じての活動が継続中であります。

当日は、朝やや寒かったものの、晴れ時々曇りの天候で、作業しやすい状況でした。午前8時50分に杷木復興支援ベース代表望月氏から本日の作業内容および杷木の復興状況の説明が行われた後、資材を軽トラに乗せ、活動現場志波地区の柿園へ向かい、9時40分作業を開始しました。 柿園の作業は、6本の木の根元に、災害で積もった約50センチの土砂(真砂)を撤去するものです。因みに、周辺の柿の木は土砂で押し流されている様子でした。現場は、前日活動した団体の作業を引き継ぎ、土砂を一輪車で一ヶ所へ運ぶものです。昨日の雨でやや土砂が柔らかくなっている状態のため、スコップで約50センチ深く掘る作業自体はしやすいものでしたが、スコップで一輪車に入れ、運搬することは、非常に疲れました。作業は、誰もケガすることなく、午後3時に道具を洗って終了しました。

一緒に活動した皆さま及び杷木復興支援ベースのスタッフの皆さま、お疲れ様でした。 また、柿・みかんの差し入れありがとうございました。おいしくいただきました。

く集合写真>

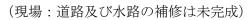


<活動状況>





(現場近辺:道路は通行止め)







(作業風景1) (作業風景2)





(作業風景 3) (作業風景 4)





(作業風景 5) (作業風景 6)





(作業風景 7) (作業風景 8)